



家庭教育は すべての教育の出発点

子どもたちにとって「家庭」は、安らぎのある楽しい居場所。
社会へ巣立っていくために欠かせない場所。

親の笑顔が子どもの笑顔を作ります。

親子が共に学び、育ち合う「家庭教育」を地域全体で応援する。
そんな「やさしい社会」が子どもたちの「^{あした}未来」を育てていきます。

くわしくは 生涯学習課 生涯学習係 ☎0288-21-5182

家庭教育ってなんだろう…？

「家庭教育」は、すべての教育の出発点です。

家庭はみんなの学びの場であり、子どもたちが最も身近に接することができる社会です。

子どもは家族とのふれ合いを通して、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的な倫理感、自尊心、社会的マナーなどを身に付けていきます。その上で、家庭は重要な役割を果たしています。

お子さんに1年生があるように、お父さんお母さんも、誰もが子育て1年生を経験します。

「みんなはどうしているのかな？」
「うちの子だけなの？」など、不安に思ったり、悩んだりすることもあると思います。

そんなときは、お父さんお母さんの先輩に頼ってみましょう。また、同じ1年生お父さんお母さんと子育て中のいろいろな思いを共有してみましょう。



家庭教育と学校教育、どこが違うの？

	家庭教育	学校教育
目的	生きていくために必要な基礎知識を身につける	
教える人	保護者(親・祖父母など)	教師
対象	個人	集団
内容	各家庭で異なる	全国一律
期間	生まれてから自立するまで	6歳～※

※義務教育期間は6歳～15歳

家庭教育は、親がわが子のためにマンツーマンで行うもので、子どもが大人になるまで続く教育です。

学校教育は、国がすべての子どものために行うもので、集団の中で学びの道筋も学習の期間も決まっています。

その子の良さを最大限に伸ばすことができるように、学校と家庭がうまく連携していくことが理想です。

家庭教育支援事業ってなあに？

どんな支援事業をしているの？

市は、子どもたちの健やかな成長と自立を促すため、保護者が子育てに必要な知識や技術を学びながら、保護者と学校・幼稚園・保育園などの連携や保護者同士の交流を通じて、悩みを解消し、楽しく子育てできるように家庭教育支援事業を実施しています。

▼家庭教育学級

各学校が、小学生の保護者(地域により幼稚園・保育園・中学生の保護者を含む)を対象に、保護者同士の交流や、子どもとの交流を深める各種教室を開設しています。リーダーを中心に、工夫を凝らした講座を開催しています。

▼親カアップ子育てセミナー

保護者の心の負担を軽くし、楽しく子育てできるよう「親力」を高めるセミナーを開催しています。

▼家庭教育支援団体の活動支援

県が養成し、市内で活躍している家庭教育支援団体へ活動の場を提供しています。現在、「栃木県家庭教育オピニオンリーダー」や「親学習チーム日光」の皆さんが講座の講師として活躍しています。

▼乳幼児保護者講座

幼稚園、保育園、地域子育て支援センター(日光ランドマーク3階等)で、絵本の読み聞かせやリトミックなどの講座を開催しています。

▼家庭教育プログラムの開発

家庭教育を支援する講座の内容を充実させるため、社会教育主事や健康課保健師・栄養士によるプログラムを開発しています。

家庭教育の ココが知りたい!

家庭教育で大切なことは？

基本は子どもが安らげる「居場所」をつくること。

また、親の姿がお手本になります。



父母で役割分担した方がいいの？

性別による役割分担ではなく、得意なことや状況に応じての役割分担が望ましく、それが上手な子育てにつながります。

成長に応じて大事なことは？

乳幼児期の「愛着形成」に始まり、子どもの時期でも親が子どもを見守り、子どもの発するサインに応じてあげることが基本です。しつけは子どもの主体性を大切に、段階を踏んで行います。

親がとるべき姿勢は？

家庭教育で知的な教育以上に重要なことは、子どもが自分自身を「大切な存在」であると思えることです。親は子どもの力を信じ、もっとも強力な応援団になりましょう。



家庭教育事業の様子